

令和5年度 予算の概要等 (2023年度)



令和5年(2023年)6月
北海道むかわ町

町政執行方針及び
教育行政執行方針
↓全文はこちら↓



【むかわ町公式ウェブサイト】

<http://www.town.mukawa.lg.jp/3357.htm>

おこ そこちから
**耕そう！「むかわの底力」で
わたしたちの未来へつなぐ**



「防災を起点にした **防災対策先導のまち** として、

いざというときの備えを固めるよう『**事前復興**』とともに

未来に向けた『**創造的復興・創生**』

のまちづくりを推進してまいります。」

むかわ町長 竹中 喜之 (たけなか よしゆき)

☑令和5年度(2023年度)のむかわ町全会計の本予算総額は、137億428万円

☑前年度予算(政策予算補正後)比較で6億2,299万円（4.3%）の減少

☑目指すまちの実現に向けて、主要な施策を基本政策ごとに予算を編成

☑町の財政状況は厳しさを増すことが想定される中においても、

課題を次世代に先送りせず、安定的かつ、持続可能な運営への第一歩

☑「人と自然が輝く清流と健康のまち」を理念として

「人とつながる、笑顔でつながる、未来へつながる むかわ」

の実現を目指します

(単位：億円)

	一般会計	特別会計	企業会計	合計
令和5年度 (2023年度)	92.73	27.14	17.17	137.04
令和4年度 (2022年度) ※政策予算補正後	97.74	26.69	18.84	143.27
比較増減	-5.01	+0.45	-1.67	-6.23
増減率	-5.1%	+1.7%	-8.8%	-4.3%

令和5年度(2023年度) 一般会計本予算総額 92億7,306万円

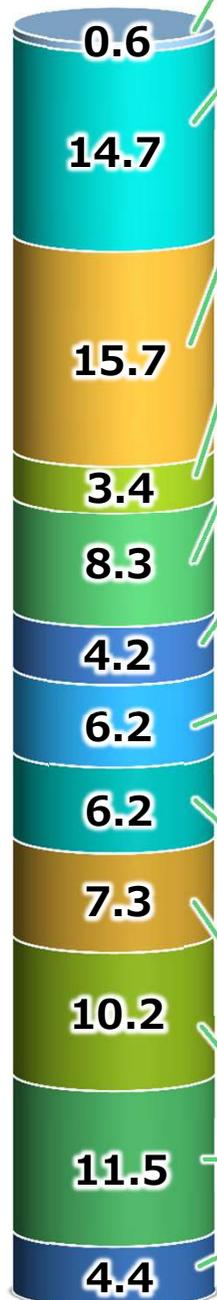
※ 各予算ごとに四捨五入しているため、
合算したときに合わない場合があります。

歳入

(億円)



歳出



議会費 対前年度 + 35万円

総務費 対前年度 - 8,938万円
穂別地区地デジ更改の事業量減少、特定地域サービス終了による減少

民生費 対前年度 + 7,328万円
子育て応援基金事業等による増加

衛生費 対前年度 - 209万円
あった〇事業リニューアル等による減少

農林水産業費 対前年度 - 6億4,497万円
ししゃもふ化場の建物整備終了による減少

商工費 対前年度 + 1億4,683万円
移住定住事業、地域おこし協力隊増員による増加

土木費 対前年度 - 712万円
住宅マスタープラン策定、長寿命化修繕計画策定終了等による減少

消防費 対前年度 + 1億3,730万円
防災行政無線操作卓等更新、事前復興計画策定による増加

教育費 対前年度 + 1,322万円
中高生海外派遣事業再開等による増加

公債費 対前年度 - 7,706万円

給与費 対前年度 - 366万円

諸支出金等 対前年度 - 4,806万円

令和5年度 (2023年度) 一般会計予算

基本政策

01

ふ
せ
ぐ

ポストコロナを見据え、 コロナ禍を克服するまちづくり

【新規事業】

【事業名】「庁内リモートワーク推進事業」

【予算】584万円

【概要】勤務効率化や住民サービスの向上を図るため、DX（デジタルトランスフォーメーション）推進、デジタル技術の導入及び利活用が進められており、既存PC更新にあわせて持ち運び可能なモバイルノートPCの導入や周辺機器を整備し、環境に応じた勤務体制を整える。

【事業名】「新型コロナウイルスワクチン接種事業」

【予算】846万円

【概要】新型コロナウイルス感染症の重症化予防を図るため、コロナが5類に移行しても、国からのワクチン配給と体制確保により、引き続き住民への接種を継続する。

3月当初予算で可決された政策的な事業を中心に掲載しています。詳細等は担当課までお問い合わせください。

基本政策

02

子育て

子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「保育人材確保一時金交付事業」
「福祉施設職員奨学金返還支援事業」

【予算】 153万円

【概要】 人材確保を図るため、保育就業継続者へ年次で給付金の支給や介護事業所や認定こども園へ就業した方の奨学金返還を支援する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「0～2歳児保育料無償化事業（子育て応援基金活用事業）」

【予算】 1,230万円

【概要】 子育てを応援するため、基金を創設し、0～2歳児の保育料を無償化する。

【町独自事業】

【事業名】 「子育て支援医療費還元事業」

【予算】 800万円

【概要】 安心して子育てできる環境をつくるため、18歳までの医療費自己負担分をむかわ町金券にて全額還元する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「くらふる事業」（移住定住促進事業） ※くらふる：暮らす＋ふるさとの造語
【予算】 5,700万円 ※各種助成条件等あります
【概要】 住環境の向上と移住・定住を促進するため、各種支援を実施する。

- ① 「マイホーム」（戸建て住宅取得奨励金事業）
【概要】 子育て世代が購入する新築住宅や中古住宅の購入費を助成し、定住促進を図る。
- ② 「リノベーション」（戸建て住宅リフォーム奨励金事業）
【概要】 一般的な改修やバリアフリー改修、脱炭素改修、耐震診断及び改修、住戸解体工事費等を助成し、定住促進を図る。
- ③ 「かみんぐ」（民間賃貸住宅家賃助成）
【概要】 転入する40歳未満の民間賃貸住宅（アパート等）家賃を助成し、移住促進を図る。
- ④ 「すまいりー」（民間賃貸住宅（アパート等）建設促進助成金事業）
【概要】 民間賃貸住宅（アパート等）の建設費を助成し、住環境の向上を図る。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「空き地・空き家対策事業」
【予算】 888万円
【概要】 人口減少や北海道胆振東部地震で顕著となっている、空き地・空き家の解消に向けて適切な対応により定住の促進を図るほか、住環境や生活環境に影響を及ぼす恐れのある所有者が不明の住宅等の特定調査を行う。

基本政策

03

まもる

災害に強く、 安全で美しいまちづくり

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「事前復興計画策定事業」

【予 算】 1,683万円

【概 要】 日本海溝・千島海溝周辺における大地震・大津波が想定され、本町も特別強化地域に指定されており、発災後、迅速かつ着実な復興を進めることができるよう、道内初の事前復興計画の策定に着手する。

【新規事業】

【事業名】 「立地適正化計画策定事業」

【予 算】 739万円

【概 要】 人口減少が続く中においても、生活サービスの充実や持続可能な行政負担、災害に強い構造など課題を整理したうえで、暮らし続けられる、持続可能なまちづくりを目指す計画の策定に着手する。

【町独自事業】

【事業名】 「防災関連講演会事業」

【予 算】 24万円

【概 要】 北海道胆振東部地震から5年目を迎え、震災当時を振り返り、今後の防災・減災について考える機会とする講演会を開催する。

【町独自事業】

【事業名】「情報伝達手段多重化事業」

【予算】165万円

【概要】災害により強いまちづくりを目指し、全国初となる自宅のテレビのdボタンで提供する、次世代データ放送サービス「ハイブリッドキャスト」を活用したシステムを運用し、地域情報から誰一人取り残さない情報伝達手段の多重化を図る。

【事業名】「地域公共交通計画策定事業」

【予算】1,010万円

【概要】人口減少が進む本町において公共交通の維持・再編は重要であり、むかわ町地域公共交通活性化協議会を通じて令和4年度には町民アンケート調査等を実施し、令和5年度も穂別地区サポート交通実証実験を行い、本町公共交通の最適化に向けた計画策定を行う。

【事業名】「ゼロカーボン推進事業」

【予算】968万円

【概要】2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、再生可能エネルギー導入可能性調査及び計画策定を行うとともに、家電買い換えリサイクル促進に対して助成を行う。

基本政策

04

はたらく

産業とまちに活力があり、 笑顔を広げるまちづくり

【町独自事業】

【事業名】「プレミアム商品券発行事業」

【予算】2,117万円

【概要】コロナ禍や物価高騰等の影響を受ける地域商工業者への消費拡大及び地域経済、商店街の活性化に向けプレミアム商品券を発行する町商工会を支援する。

【町独自事業】

【事業名】「まちなか再生事業」

【予算】612万円

【概要】平成30年北海道胆振東部地震で被災したまちなかを再生し賑わいを取り戻すため、住民主体の検討会実施支援や穂別サテライトオフィスの運営、地域の資源を活かした取組を実施する。

【新規事業】

【事業名】「森林再生事業」

【予算】400万円

【概要】平成30年北海道胆振東部地震で被災した森林再生の意向調査を実施する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「新規就農総合対策事業」

【予算】 912万円

【概要】 新規就農者に対して、経営開始に対する独自補助や家賃助成を実施する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「水田農業緊急対策事業」

【予算】 1,700万円

【概要】 水田農業の維持のため実施する緊急的な畦畔(けいはん)の補修等に要する費用の一部を支援する。

【町独自事業】

【事業名】 「ししやもふ化場整備事業」

【予算】 4,975万円

【概要】 昨年11月から稼働を開始したししやもふ化場の外構を整備する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「ししやも生態等調査研究事業」

【予算】 100万円

【概要】 記録的な不漁となっているししやもの維持・回復に向けて、調査研究会を設立し、ししやもの調査研究を推進する。

3月当初予算で可決された政策的な事業を中心に掲載しています。詳細等は担当課までお問い合わせください。

基本政策

05

ま
な
が

学びを通して、 多様な人材を育てるまちづくり

【事業名】「G I G Aスクールサポーター事業」

【予 算】181万円

【概 要】文科省が進めるG I G Aスクール構想の実現に向けて、サポーター派遣により子ども達を誰ひとり取り残すことなく、教育現場を支援する。

【町独自事業】

【事業名】「高校魅力化推進事業」

【予 算】1,676万円

【概 要】鶴川高校、穂別高校それぞれの特色ある取組を支援する。
また、全国からの留学を受け入れる地域みらい留学募集や鶴川高校の通学費助成、通学バス運行を実施する。

【町独自事業】

【事業名】「鈴木章記念事業」

【予 算】1,520万円

【概 要】北海道で初のノーベル化学賞を受賞した北海道大学名誉教授 鈴木 章 氏の出身地として、世界へ力強く羽ばたく児童生徒を育成するため、大学等への進学奨励金の支給や中高生向けの夢叶輪(むかわ)公営塾の運営、中高生のオーストラリア海外派遣を実施する。

【町独自事業】

【事業名】「生涯学習基金事業」

【予算】420万円

【概要】町民の皆さんが実施する生涯学習活動支援として、指導者養成のための派遣や、文化・スポーツ大会への参加費用の一部助成を行う。

【町独自事業】

【事業名】「青少年健全育成推進事業」

【予算】248万円

【概要】広島平和の旅派遣やジュニアチャレンジ合宿、青少年リーダー研修等を行い、それらを通じて本町の青少年健全育成につなげる。

【町独自事業】

【事業名】「わんぱく放課後子ども教室事業」

【予算】1,783万円

【概要】むかわオリジナルで様々なジャンルの活動を展開し、放課後や週末に学習やスポーツ・体験活動等の取組を実施する。

3月当初予算で可決された政策的な事業を中心に掲載しています。詳細等は担当課までお問い合わせください。

基本政策

06

つ
な
ぐ

様々なつながりを活かし、 輝く未来をつくるまちづくり

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】 「高大地連携事業」

【予 算】 200万円

【概 要】 町に関わりを持つ若者と一緒に、地方創生を生み出すための仕組みづくりを行う。

【町独自事業】

【事業名】 「共に創^{つく}るまちづくり事業」

【予 算】 300万円

【概 要】 「第2次むかわ町まちづくり計画」において、重点的に取り組むこととしている「地方創生」「まちなか再生(震災復興)」「タウンプロモーション」に資する公益性のある事業を支援し、町民・事業者・行政等が一体となったまちづくりを加速化させる。

【町独自事業】

【事業名】 「自治区活動支援事業」

【予 算】 1,077万円

【概 要】 両地区の地域イベントや自治区活動を支援する。

(鵜川ししやもファミリー駅伝、穂別流送まつり、マザーズフォレスト、アリモリカップマラソン、穂別自治区運動会、つつじとアスパラの春祭り、銀河鉄道の里づくり、新生通沿道花壇整備など)

【町独自事業】

【事業名】「復興拠点施設等整備事業」（事務費）

【予算】173万円

【概要】町プロジェクトチームの活動（関係機関などとの協議、住民説明会、先進地視察など）を行う。

（復興拠点施設等整備事業）

穂別地区では人口減少に拍車がかかり、買い物弱者や交通弱者が発生する等の地域課題が発生。脱炭素やSDGsなどの社会課題とあわせて、穂別博物館の再整備とともに課題解消を目指す。博物館だけではなく、エリア全体のデザインを行い、北海道胆振東部地震で被災したまちなか再生と鶴川地区・穂別地区の両地区に人の流れをつなげる。令和4年度から着手中。

【町独自事業】

【事業名】「恐竜プロジェクト事業」

【予算】3,267万円

【概要】恐竜ワールド構想の実現に向け、町内外の機運醸成、周遊観光の促進、産業振興等の推進を図るため、地域商社等の関係団体と連携しながら地方創生事業の柱として、まちの魅力向上と関係・関心人口の創出・拡大につながる取組を行う。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】「タウンプロモーション戦略推進事業」

【予算】354万円

【概要】まちの認知度向上と地域ブランドの確立、効果的な情報発信、まちの誇りや愛着心の醸成に向けたタウンプロモーション戦略プランを策定する。また、関係人口・交流人口の創出・拡大に向けた観光PR動画の制作やPR大使とともに各種活動を展開する。

3月当初予算で可決された政策的な事業を中心に掲載しています。詳細等は担当課までお問い合わせください。

電力・ガス・食料品等価格高騰に対する 国交付金を活用した町の独自支援策

その他
07
臨時交付金
地方創生

【町独自事業】

【事業名】「住民非課税世帯への生活特別給付金事業」

【予算】 4, 375万円

【概要】 物価高騰が続く暮らしへの支援を行うため、住民非課税世帯に対して1世帯あたり3万円の町金券を支給する。

【町独自事業】

【事業名】「むかわ町福祉介護事業所物価高騰対策支援事業」

【予算】 1, 110万円

【概要】 物価高騰で厳しい経営状況に直面している町内の介護事業所・福祉事業所・認定子ども園について、安定した事業運営を目的に事業所等の規模に応じた支援金を交付する。

【町独自事業】

【事業名】「貨物自動車運送事業者燃料価格高騰対策支援事業」

【予算】 500万円

【概要】 燃料価格高騰を受けて厳しい経営状況に直面している貨物自動車運送事業者に対して、安定した事業の継続を目的に所有する車両台数に応じて支援金を交付する。

【町独自事業】

【事業名】「むかわ得々飲食券消費活性化事業」

【予算】1,030万円

【概要】物価高騰の影響を受けた生活者及び飲食店を支援するため、プレミアム付き飲食券を発行し、地域経済の活性化を図る。

【町独自事業】

【事業名】「給食費無償化支援事業（令和5年度1学期分）」

【予算】839万円

【概要】物価高騰の影響を受けた小中学校保護者に対して、経済負担の軽減を図るため、令和5年度1学期分の給食費を臨時的に無償化する。

【新規事業】 【町独自事業】

【事業名】「漁業燃油高騰対策支援事業」

【予算】300万円

【概要】燃料価格高騰を受けて厳しい経営状況に直面している町内漁業者を支援することを目的に、漁船燃料の価格を抑制するため鶴川漁協に支援し、漁業者の負担軽減を図る。



基本的な考え方

むかわ町は、町長が3期目に掲げた基本姿勢『耕(おこ)そう！「むかわの底力」でわたしたちの未来へつなぐ』、行動指針『「共創」共に創るまちづくりへ』をテーマに、6つの分野における各施策を推進します。



基本姿勢

町政

「むかわの底力」で
まちを耕し、未来へつなぐ



基本政策

～6つの政策の柱で
「地元力」をさらに耕上～



1 ポストコロナを見据え、コロナ禍を克服するまちづくり -ふせぐ-



2 子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり -くらす-



3 災害に強く、安全で美しいまちづくり -まもる-



4 産業とまちに活力があり、笑顔を広げるまちづくり -はたらく-



5 学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり -まなぶ-



6 様々なつながりを活かし、輝く未来をつくるまちづくり -つなぐ-



1 ポストコロナを見据え、コロナ禍を克服するまちづくり -ふせぐ-

- ・ウィズコロナ・ポストコロナを基本とした感染症対策を進めます。
- ・5類に移行後も引き続き、国、北海道、町内医療機関などとの連携した新型コロナワクチンの接種体制を確保します。
- ・外部からデジタル人材を登用し、推進体制を構築します。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画を策定します。
- ・スマート申請やオンライン手続き、庁内リモートワークの推進など、積極的にデジタル技術の導入及び利活用を進めます。 等



2 子育てしやすく、健康で安心して暮らすまちづくり -くらす-

- ・妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を実施します。
- ・「むかわ町子育て応援基金」を創設し、「0～2歳児保育料無償化事業」を実施します。
- ・新たに「保育人材確保一時金交付事業」を実施し、保育士資格者の確保と就業継続等を図ります。
- ・放課後子ども教室については「地域で子育て」をテーマに地域の多様なニーズを踏まえた環境づくりを進めます。
- ・認知症サポーターなどが支援チームをつくり、認知症の方やその家族の支援ニーズに合った具体的な支援につながる仕組み「チームオレンジ」を構築します。
- ・介護・看病・お世話などが必要な家族などをケアする、いわゆるケアラー・ヤングケアラーを含め全てのケアラーが健康で文化的な生活を営むことができる社会の実現を目指し、「むかわ町ケアラー支援条例」を制定します。
- ・子どもから高齢者までそれぞれのライフステージに応じた食に関する取り組みを実践し、食育と地産地消を推進します。
- ・移住定住促進対策については、新たに「くらふる事業」を創設し、子育て世代が購入する新築住宅や中古住宅の購入費用を助成する「戸建て住宅取得助成事業」（マイホーム）、住宅リフォームに対し助成する「戸建て住宅リフォーム助成事業」（リノベーション）を実施します。
- ・住環境の向上と定住人口の増加を図るため、町内に賃貸共同住宅（アパート等）を建設する方へ建設費用の一部を助成する「民間賃貸共同住宅等建設促進事業」（すまいりー）を実施します。等

3

災害に強く、安全で美しいまちづくり -まもる-

- ・全国初となる自宅のテレビのdボタンで提供する、次世代データ放送サービス「ハイブリッドキャスト」を活用したシステムを4月から運用開始し、情報伝達手段の多重化を図ります。
- ・自主防災組織の育成・強化を図るほか、防災訓練の実施や各種ハザードマップの更新、各種タイムラインの運用など、ハード・ソフト両面から地域防災力の向上を図ります。
- ・発災後、迅速かつ着実に復興まちづくりを進めることができるよう、道内の自治体に先駆けて「事前復興計画」の策定を進めます。
- ・交通安全対策については、交通事故のないまちを目指し、町民や関係機関などと連携し、交通安全意識の向上に努めるとともに、生活交通環境の充実を図ります。
- ・安全で利便性の高い町道整備や道路・橋梁の定期点検や長寿命化事業を進め、幹線道路の整備などを進めます。
- ・公園・緑地の整備については、劣化の著しい遊具等を更新し、利用者が安全に利用できるよう整備を進めるとともに、緑地空間の充実を図ります。
- ・地域公共交通については、子どもから高齢者まで安心して暮らすことができるよう、持続可能な公共交通ネットワークの構築に向け、令和5年度に地域公共交通計画を策定するとともに、効率的なバス路線の見直しを進めます。 等

4

産業とまちに活力があり、笑顔を広げるまちづくり -はたらく-

- ・新たに新規就農総合支援事業を創設し、新規就農者などへの支援の充実を図ります。
- ・地域農業活性化基金事業を継続するとともに、水田農業緊急対策事業を実施します。
- ・民有林振興対策事業や私有林整備促進事業を実施します。
- ・エゾシカによる農林業被害の軽減に対する取り組みや支援を行います。
- ・試験研究機関、漁協、行政による調査研究会を立ち上げ、鵜川ししゃもに資源回復に向けた調査・研究を実施します。
- ・商工会と連携しながら、プレミアム商品券発行事業をより一層活用し、地域経済の活性化を進めます。
- ・北海道胆振東部地震により大きな被害を受けたまちなかを再生し賑わいを取り戻すため、持続的な地域運営につなげる組織体制づくりや地域商社と連携しながら地域資源を活かしたまちづくり、地方創生に取り組みます。
- ・観光協会をはじめ関係団体と連携を強化しながら、本町の魅力ある地域資源を活用し、観光客の周遊促進や賑わいの創出を図ります。 等



5 学びを通して、多様な人材を育てるまちづくり –まなぶ–

- ・本町の地域資源や産業などの素材を生かした探究型ふるさと学習「むかわ学」を推進し、郷土への誇りや愛着を育むとともに、将来のむかわ町を支える人材の育成を進めます。
- ・夢(む)叶(か)輪(わ)公営塾を本町の学びの拠点と位置づけ、引き続き中高生の学力向上や進路相談などのサポートを行うとともに、新型コロナウイルス感染症の流行により派遣を中止していた中高生オーストラリア派遣を令和5年度から再開します。
- ・GIGA（ギガ）スクール構想については、タブレットやデジタル機器を積極的に活用したICT教育を推進するとともに、時代が求める教育環境の整備を進めます。
- ・鷗川・穂別両高等学校の魅力化については、包括連携協定に基づく支援を継続するとともに、生徒確保の取り組みを進めます。
- ・文化・スポーツ活動の推進については、町民文化祭、ビーチバレーボール大会など各種事業や文化協会、スポーツ協会、NPO法人むーブへの支援を行い、町内での文化・スポーツ活動の活性化を図ります。 等



6 様々なつながりを活かし、輝く未来をつくるまちづくり –つなぐ–

- ・町民や若者などの柔軟なアイデアによる地域の活性化を目指すために創設した「共に創るまちづくり事業」に引き続き取り組みます。
- ・恐竜ワールド構想推進事業については、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用したデジタル技術を駆使したイベント開催や周遊コンテンツの開発などを進めます。
- ・穂別地区をフィールドとした復興拠点施設等整備事業Ⅰについては、エリアデザインなどの業務を基に次のステップに向け進めてまいります。併せて、鷗川地区における拠点整備に向け、復興拠点施設等整備事業Ⅱの基本設計を策定して、まち全体につながるよう取り組んでまいります。
- ・「高大地連携事業」については、本町と関わりを持った学生が将来的に本町に定着し、次世代の若者を育成する好循環を生み出すための仕組みの構築を進めます。
- ・「タウンプロモーション推進プロジェクト」については、まちの認知度向上とむかわブランドを確立することを目的に、効果的にプロモーションを展開するためのタウンプロモーション戦略プランを策定します。 等

基本的な考え方

むかわ町の教育目標である「海・川・山の豊かな自然を生かし、人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」ことを基調とし、むかわ町教育大綱の方針に基づき、各施策を推進します。

教育目標

教育

「海・川・山の豊かな自然を生かし、
人間愛に満ちた活力ある『むかわ』の人づくりをめざす」

1 学校教育

学校の教育力の向上と教育環境の整備・充実を進めます。

学校教育アドバイザーを配置し、学校運営全般へのきめ細かな指導と学力向上対策を実施します。

「家庭学習の手引き」を作成・活用し、学校・家庭・地域が連携した取組を進めます。

小学校においては、チーム・ティーチングなど、きめ細かな指導を行うための体制を確保します。

中学校においては、個々の能力に合った習熟度別少人数指導等にも取り組みます。

GIGAスクール構想によるICT教育を推進します。

外国語指導やプログラミング教育の充実を図ります。

コロナ禍で3年間中断していた中高生オーストラリア派遣事業を再開します。

これからの地域を担う人材の育成を目指し、夢叶輪公営塾を運営します。

大学進学等助成金の給付を行います。

いじめを生まない教育活動を行うとともに、いじめ・不登校の未然防止や学級崩壊の予防をします。

学校給食を活用した「食育」と、「コーディネーショントレーニング」の普及を行います。

地域全体で学校運営を応援していく活動の充実を図ります。

1 学校教育

各学校、関係機関と連携し、専門性が高くきめ細やかな特別支援教育を推進します。
学習面での補助を行う支援員や、学校生活の支援を行う介助員を継続して配置します。
校務支援システムを導入し、教職員の働き方改革を推進します。
町との包括連携協定に基づき鶴川・穂別両高等学校の魅力化を支援します。
高校・大学・地域の連携を推進し、地域を担う人材の育成に取り組みます。
むかわの地域資源や良さに着目したふるさと教育である「むかわ学」を推進します。
鶴川高校野球部生徒や地域みらい留學生徒をまち全体で受け入れ、地域の活性化につなげます。
3年間全て鶴川高校で過ごす道外募集の受入を開始します。
苫小牧・鶴川間の通学バスの運行やJR定期券の給付を継続し、町外からの生徒の確保を図ります。
穂別高校での小中高ふるさとキャリア教育推進や穂星寮の充実等、穂別ならではの取組を図ります。

等

2 社会教育

生涯を通じて自ら進んで豊かに学ぶ環境づくりを推進します。
子どもたちを守り育てる安全・安心な地域づくりを推進します。
少年の主張大会、読書感想文コンクール、あいさつ運動等、青少年の育成を促進する取組を実施します。
ふれあい大学やことぶき学級等、成人や高齢者教育を推進します。
文化協会、体育協会、NPO法人「むーブ」へ支援し、文化・スポーツ活動を推進します。
文化財の保護と活用を推進します。
総合文化祭・町民文化祭の開催や歴史的文化遺産の保存活用を図ります。
生涯学習基金を活用した指導者養成や活動支援、全道・全国大会への出場支援を行います。
穂別図書館及びまなびランド図書室の充実を図り、家庭教育の向上や地域文化等を高めます。
ブックスタート事業やボランティア団体等による読み聞かせの実施等、読書活動を促進します。
穂別博物館にて、町民の知的関心に応える活動を推進します。

等



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



むかわ町は
持続可能な
まちづくりを
進めています



むかわ町公認キャラクター むがるん

顔は甘くて美味しい「ほべつメロン」。
頭をかじっているのは
穂別地区で発見された「クビナガリュウ」。
むかわの野菜「レタス」のバッグには
好物の「生干しシシャモ」が入っているよ。 ©2016むかわ町

「町長町政執行方針」及び「教育行政執行方針」の全文は、
むかわ町公式ウェブサイトに掲載しています。

【むかわ町公式ウェブサイト】<http://www.town.mukawa.lg.jp/3357.htm>

